

地域景況レポート

2024年「令和6年度第3期(7月～9月期)」

とっかけ

“いわきの冬の風物詩”

イルミエールいわき



▲JRいわき駅ベデス
トリアンデッキからの
眺め

◀街中を照らすLED

JRいわき駅前大通りをメイン会場に開催される“いわきのまちの冬の風物詩”となっている「イルミネーションイベント」です。

東日本大震災の翌年、平成24(2012)年から、いわき青年会議所が主催し、復興への願いとふるさとへの想いを込めて「いわき光のさくらまつり」としてスタートしました。

震災から10年目の節目に当たる令和3(2021)年からは、「イルミエールいわき」に改称し、今年で第4回になります。

今年は、市内7カ所で同時開催され、一部会場を除き11月23日(土・祝)から来年1月13日(月・祝)まで、「共に創るこれからのいわきの魅力～輝くわたしたちのいわき～」をコンセプトテーマに、会場ごとに様々な光のシーンを奏でて、冬の夜空を美しく彩ります。

目次

表紙 “いわきの冬の風物詩”

1～5 中小企業景気動向調査の集計結果

特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」

6 企業紹介「富士見防災通信(株)」

7 市内の観光歴史めぐり：白水阿弥陀堂の大イチョウ／向日葵



街の応援団・町のパートナー

ひまわり信用金庫



中小企業景気動向調査の集計結果

[調査対象企業数 400 社]
 [回答企業数 396 社]
 [回収率 99.0%]

景気動向調査回答企業

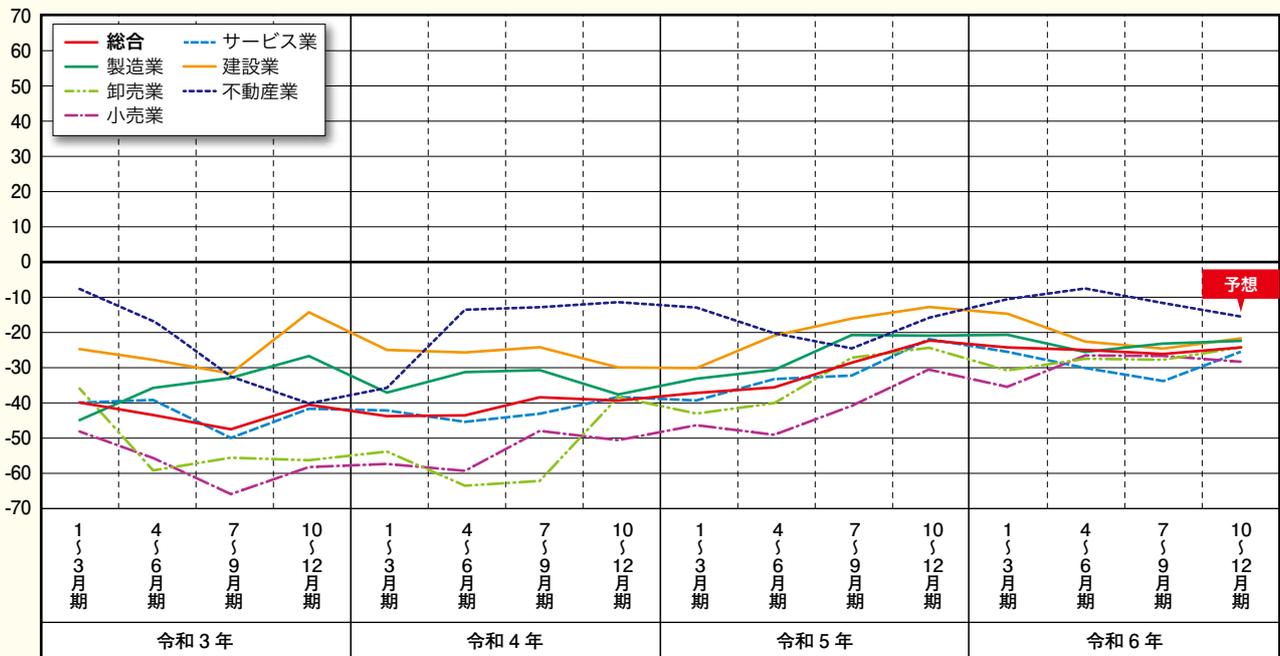
(先)

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
平・内郷方部 <small>(本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央台支店の地域)</small>	28	15	45	32	25	10	155
小名浜・常磐方部 <small>(小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)</small>	30	13	37	26	27	9	142
勿来方部 <small>(楯田・錦・勿来・中岡支店の地域)</small>	21	4	32	21	16	5	99
合計	79	32	114	79	68	24	396

概況

業況はほぼ横ばいで推移、先行きについてはわずかに改善する見通し

令和6年7月～9月期の自企業の業況DIを前回調査（令和6年4月～6月期）と比較すると、いわき市全域で「悪化」超26.8%と0.8ポイント悪化超幅が拡大した。前回調査時の「今期予想」では「悪化」超を28.5%とみていたので、予想よりも1.7ポイント悪化超幅が縮小した。地域別では、平・内郷方部は「悪化」超26.0%と9.4ポイント悪化超幅が拡大した。一方、小名浜・常磐方部は「悪化」超29.6%と1.6ポイント悪化超幅が縮小、勿来方部も「悪化」超24.2%と9.8ポイント悪化超幅が縮小した。先行き（令和6年10月～12月期）は、いわき市全域で「悪化」超25.0%と、悪化超幅の縮小が見込まれている。



自企業の業況

※ DI (Diffusion Index) 値とは

景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値で、「とっかけ」の指標はDI値を使用しています。

業種別・地域別業況

製造業でわずかに改善が見られたものの、業種全体ではほぼ横ばいで推移。先行きは業種全体でわずかに改善する見通し

前回調査（令和6年4月～6月期）と今回調査（令和6年7月～9月期）を業種別にみると、小売業は「悪化」超27.2%と悪化超幅が0.2ポイント拡大、サービス業は「悪化」超34.2%と悪化超幅が3.8ポイント拡大、建設業は「悪化」超25.0%と悪化超幅が1.1ポイント拡大、不動産業も「悪化」超12.5%と悪化超幅が4.2ポイント拡大した。一方、製造業は「悪化」超24.1%と悪化超幅が2.5ポイント縮小、卸売業は前回調査と同数の「悪化」超28.1%となった。

先行き（令和6年10月～12月期）は、小売業、不動産業は悪化超幅が拡大する一方、製造業、卸売業、サービス業、建設業で悪化超幅が縮小することから、業種全体では「悪化」超25.0%と悪化超幅の縮小が見込まれている。

業種別の業況

() は前回調査時の今期予想 [単位:%]

業種別	令和6年4月～6月期	令和6年7月～9月期	令和6年10月～12月期(予想)
総合	▲26.0	▲26.8(▲28.5)	▲25.0
製造業	▲26.6	▲24.1(▲29.1)	▲22.8
卸売業	▲28.1	▲28.1(▲31.3)	▲25.0
小売業	▲27.0	▲27.2(▲30.4)	▲28.9
サービス業	▲30.4	▲34.2(▲32.9)	▲26.6
建設業	▲23.9	▲25.0(▲23.9)	▲22.1
不動産業	▲8.3	▲12.5(▲12.5)	▲16.7

地域別の業況 [方部別の推移]

[単位:%]

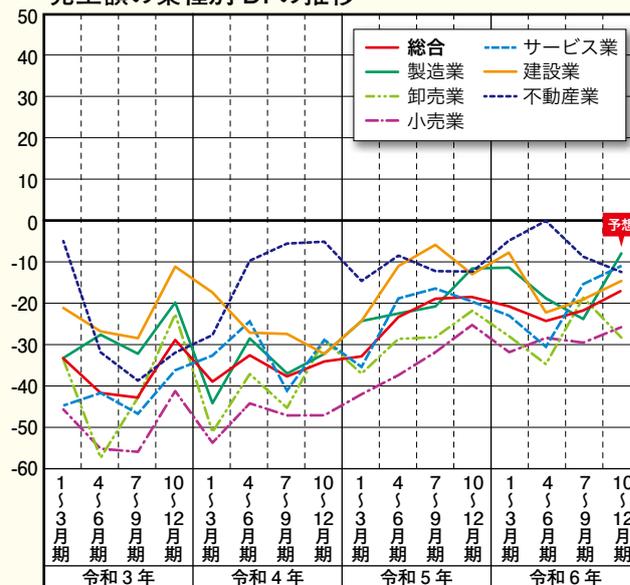
方部別	令和6年4月～6月期	令和6年7月～9月期	令和6年10月～12月期(予想)
いわき市全域	▲26.0	▲26.8	▲25.0
平・内郷方部 (本店・四倉・豊間・内郷・平窪・好間・中央支店の地域)	▲16.6	▲26.0	▲17.4
小名浜・常磐方部 (小名浜・泉・湯本・遠野・鹿島支店の地域)	▲31.2	▲29.6	▲31.0
勿来方部 (植田・錦・勿来・中岡支店の地域)	▲34.0	▲24.2	▲28.3

※▲は「悪化」超

▶▶ 売上額

売上額は、前回調査（令和6年4月～6月期）の「減少」超24.7%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「減少」超21.7%と3.0ポイント減少超幅が縮小した。また、先行き（令和6年10月～12月期）は、「減少」超16.9%と、売上額の減少を見込まれている企業がやや減少している。

売上額の業種別 DI の推移



▶▶ 受注残

製造業における受注残は、前回調査（令和6年4月～6月期）の「減少」超18.5%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「減少」超21.5%と3.0ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和6年10月～12月期）は、「減少」超12.7%と、受注残の減少を見込まれている企業が大きく減少している。

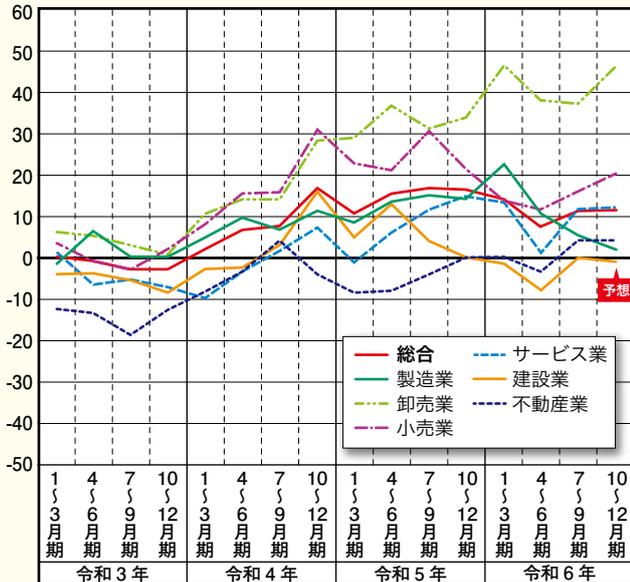
建設業における受注残は、前回調査（令和6年4月～6月期）の「減少」超14.9%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「減少」超17.6%と2.7ポイント減少超幅が拡大した。先行き（令和6年10月～12月期）は、「減少」超13.2%と、受注残の減少を見込まれている企業がやや減少している。

▶▶ 施工高

建設業における施工高は、前回調査（令和6年4月～6月期）の「減少」超11.9%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「減少」超7.4%と4.5ポイント減少超幅が縮小した。先行き（令和6年10月～12月期）は、「減少」超8.8%と施工高の減少を見込まれている企業がわずかに増加している。

▶ 販売・請負価格

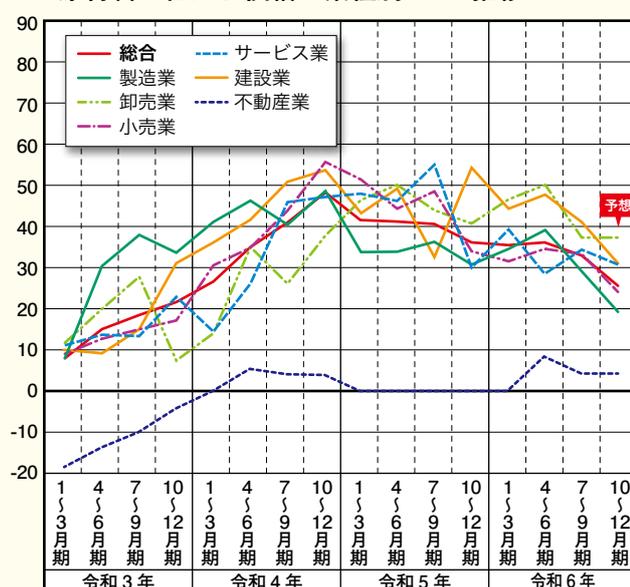
販売・請負価格の業種別 DI の推移



販売・請負価格は、業種全体で前回調査（令和6年4月～6月期）の「上昇」超7.1%に対し、今回（令和6年7月～9月期）は、「上昇」超11.1%と4.0ポイント上昇超幅が拡大。業種別では、製造業は上昇超幅が縮小、卸売業、不動産業は前回調査と同数となったが、小売業、サービス業は上昇超幅が拡大、建設業は「下降」「上昇」同数の0.0%となった。先行き（令和6年10月～12月期）は、建設業は再び「下降」超、製造業、サービス業は上昇超幅が縮小する一方で、不動産業は今回と同数の「下降」超、卸売業、小売業は上昇超幅が拡大することから、業種全体では「上昇」超11.4%が見込まれている。

▶ 原材料・仕入れ価格

原材料・仕入れ価格の業種別 DI の推移



原材料・仕入れ価格は、業種全体で前回調査（令和6年4月～6月期）の「上昇」超36.2%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「上昇」超32.7%と3.5ポイント上昇超幅が縮小した。

先行き（令和6年10月～12月期）は、業種全体で「上昇」超25.3%と原材料・仕入れ価格の上昇を見込まれている企業が減少している。

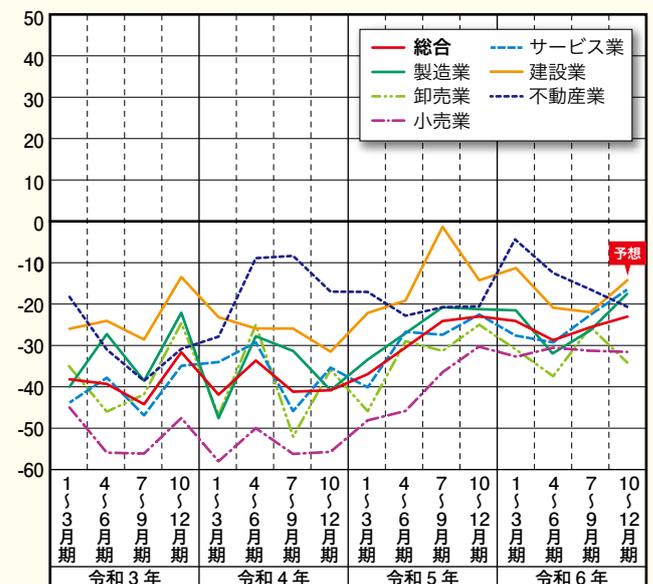
▶ 収益

収益は、業種全体で前回調査（令和6年4月～6月期）の「減少」超28.5%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「減少」超25.8%と2.7ポイント減少超幅が縮小した。

業種別に前回調査（令和6年4月～6月期）と今回調査（令和6年7月～9月期）を比較すると、製造業、卸売業、サービス業は減少超幅が縮小、小売業、建設業、不動産業は減少超幅が拡大した。

先行き（令和6年10月～12月期）は、業種全体で、「減少」超22.5%と、収益の減少を見込まれている企業がやや減少している。

収益の業種別 DI の推移



▶ 在庫

在庫状況は、業種全体で前回調査（令和6年4月～6月期）の「過剰」超0.3%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、「不足」超3.2%と「不足」超に転じた。

先行き（令和6年10月～12月期）は、建設業は不足超幅が縮小する一方で、不動産業は今回調査と同数の「不足」超、製造業、卸売業は不足超幅が拡大、小売業は「過剰」超から「不足」超に転じることから、業種全体で「不足」超3.8%が見込まれている。

▶ 資金繰り

資金繰りは、引き続きすべての業種で「苦しい」超となっており、業種全体で「苦しい」超19.9%となった。

先行き（令和6年10月～12月期）も、すべての業種で「苦しい」超としており、業種全体で「苦しい」超18.2%と、資金繰りは、今後も厳しい状況が続くものと思われる。

▶ 金融機関借入れ状況

金融機関からの借入れ状況は、全体の86.9%の企業が「借入れしない」とした。

今後の借入れ予定についても、すべての業種で「借入れの予定なし」とした企業が「借入れの予定あり」とした企業を上回っており、全体の93.2%の企業が「借入れの予定なし」としている。

また、金融機関からの借入れ難易度は、「難しい」・「該当なし」とする企業の割合が前回調査（令和6年4月～6月期）の89.1%に対し、今回調査（令和6年7月～9月期）では、87.6%となり、借入れは行わないとする考え方は、依然として変わっていない。

▶ 設備の状況

設備の状況は、9割の企業（令和6年7月～9月期90.1%、令和6年10月～12月期予想89.8%）が「適正」とした。

なお、「適正」以外の回答をみると、今回調査（令和6年7月～9月期）でも、全ての業種で「不足」・「やや不足」とする企業が「過剰」・「やや過剰」とする企業を上回ったことから、業種全体で「不足」超7.3%と前回調査と同様「不足」超の状況となった。

設備投資の実施・予定

上段：先数
下段：比率（%）

業種	令和6年7月～9月期							令和6年10月～12月期								
	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない	土地・建物	機械・新增	機械・更改	事務機器	車	両	その他	実施しない
総合	3 0.8	13 3.4	6 1.6	16 4.2	10 2.6	2 0.5	2 0.5	333 86.9	1 0.3	7 1.8	8 2.1	12 3.1	14 3.7	2 0.5	2 0.5	338 88.5
製造業	1 1.2	8 9.3	2 2.3	6 7.0	3 3.5	0 0.0	0 0.0	66 76.7	0 0.0	5 6.0	3 3.6	5 6.0	4 4.7	1 1.2	1 1.2	66 78.5
卸売業	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	30 93.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 96.9
小売業	1 0.9	—	—	3 2.7	4 3.6	1 0.9	1 0.9	103 91.9	1 0.9	—	—	2 1.8	6 5.3	1 0.9	1 0.9	103 91.1
サービス業	0 0.0	4 5.0	2 2.5	2 2.5	1 1.3	0 0.0	0 0.0	71 88.7	0 0.0	1 1.2	2 2.5	2 2.5	1 1.2	0 0.0	0 0.0	75 92.6
建設業	1 1.4	1 1.4	2 2.7	3 4.1	2 2.7	1 1.4	1 1.4	63 86.3	0 0.0	1 1.4	3 4.2	2 2.8	3 4.2	0 0.0	0 0.0	63 87.4

経営上の問題点

（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
売上の停滞・減少	173	26	17	55	35	31	9
同業者間の競争の激化	93	7	8	23	22	23	10
原材料高（材料価格の上昇）	78	27	—	—	21	30	—
人手不足	73	17	1	24	15	16	0
利幅の縮小	64	16	9	23	4	10	2
仕入先からの値上げ要請	39	3	12	24	—	—	—
人件費の増加	39	14	1	7	12	4	1
大手企業（大型店）との競争の激化	38	5	—	16	12	4	1
人件費以外の経費の増加	21	1	1	5	5	6	3
商圏人口の減少	15	—	—	9	6	—	—
取引先の減少	15	—	4	5	6	—	—
販売商品（商品物件）の不足	15	—	1	6	—	—	8
その他	91	27	11	23	18	9	3
問題なし	32	7	1	9	5	5	5
合計	786	150	66	229	161	138	42

当面の重点経営施策（経営のポイント）

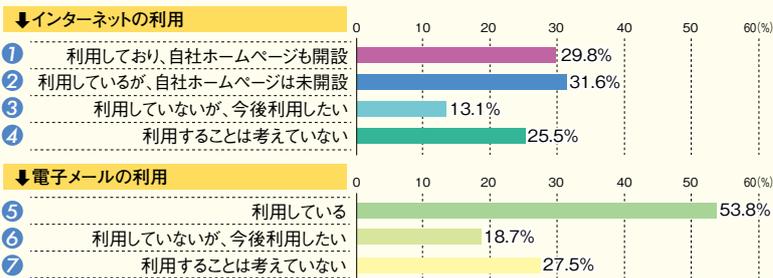
（複数回答）

項目	計	業種別					
		製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
経費を節減する	215	43	22	62	45	36	7
販路を広げる	88	26	16	—	16	27	3
宣伝・広告を強化する	62	—	—	30	22	—	10
人材を確保する	51	12	1	10	16	12	0
情報力を強化する	34	13	4	—	—	8	9
品揃えを改善（充実）する	31	—	8	23	—	—	—
技術力を強化する（高める）	24	—	—	—	9	15	—
提携先を見つける	22	8	7	—	4	—	3
売れ筋商品を取り扱う	18	—	—	18	—	—	—
商店街事業を活性化させる	15	—	—	15	—	—	—
機械化を推進する	15	7	0	3	5	—	0
労働条件を改善する	13	4	1	—	4	4	0
その他	79	24	2	28	8	14	3
特になし	44	8	2	18	10	3	3
合計	711	145	63	207	139	119	38

特別調査「中小企業におけるデジタル化とキャッシュレスへの対応について」

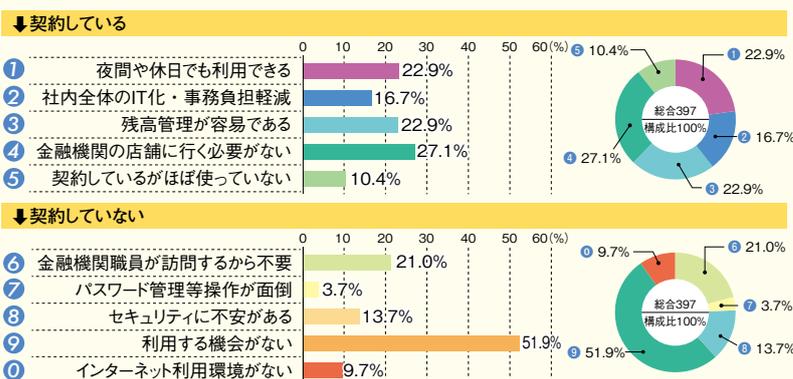
問 1

貴社では、事業上の情報収集・情報発信等において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。1~4の中から1つ選んでお答えください。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。あてはまるものを5~7の中から1つ選んでお答えください。



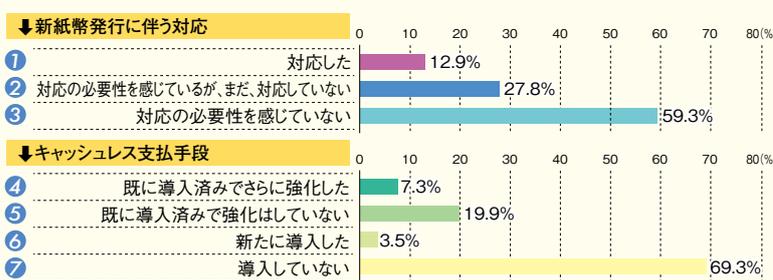
問 2

貴社では、インターネットバンキングを契約していますか。契約している方は、契約している主な理由または状況を1~5の中から1つ選んでお答えください。契約していない方は、契約していない主な理由を6~0の中から1つ選んでお答えください。



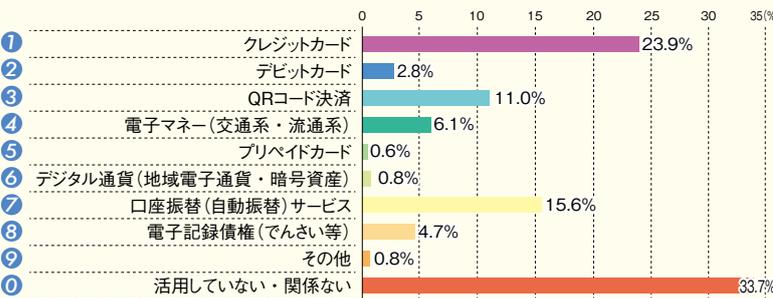
問 3

7月に実施された新紙幣の発行に伴い、貴社では何らかの対応(設備投資など)を実施しましたか。1~3からお答えください。また、新紙幣導入を機にキャッシュレス支払手段の導入または強化をしましたか。4~7からお答えください。



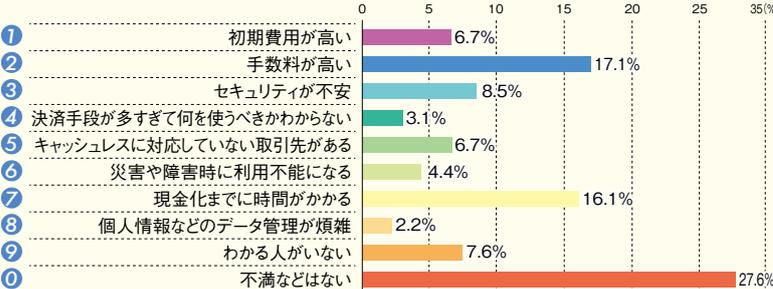
問 4

貴社では、取引先や顧客との決済にあたって、現在、どのようなキャッシュレス支払手段を活用していますか。主に活用しているキャッシュレス支払手段を1~9の中から、3つ以内で選んでお答えください。活用していない方は0とお答えください。



問 5

問4の1~9で挙げたキャッシュレス支払手段について、導入している方は感じている不満を、導入していない方は導入していない理由を1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。



企業紹介

public relations

富士見防災通信(株)



代表取締役 志賀 義平

住所：〒970-8025 いわき市平南白土2-11-19
電話番号：0246-22-0629
営業時間：午前8時15分～午後5時30分
休日：会社カレンダーによる



弊社は昭和55（1980）年5月の創立以来、防災設備・電気通信設備の施工および保守を手掛けてまいりました。

東日本大震災の発生により、防災に対する世の中の意識は大きく変わったと思います。そして、多くの復興事業で建設された建物にはどれもこれも、最新の防災設備・電気通信設備が備えられています。

日進月歩で発達する通信情報技術は、防災のために有効活用されているのはもちろん、これから訪れる高齢化社会において、より便利でより安全な生活を支える基盤のひとつとなることは間違いありません。弊社では刻々と変化するニーズにも対応することができるよう、技術の習得にも努めております。

これからも防災設備・電気通信設備の施工から保守に至るまでのトータルサポートを通じて、地域社会のより便利でより安全な生活を支えてまいります。



【編集室から】

防災設備は、自然災害や人災などから命と財産を守るために設置されるさまざまな設備です。火災報知器や消火器などさまざまな種類があり、消防法を中心に設置義務などが定められています。放送機材や電話といった電気通信設備は、日常生活や業務などに欠かせない設備であることから、災害時にも活用されます。

どちらも間断なく使えることが重要であることから、富士見防災通信（株）では「24時間」の対応を通じて顧客の安心安全をしっかりサポートしています。また、地元根差しつつ、北は相双地区、南は茨城県までを中心エリアとして業務に取り組んでいます。

これまで、東日本大震災発生後の需要増、テレビのアナログ放送からデジタル放送への切り替え、急速に進展するデジタル化など、時代の変化に応じた様々なニーズにも技術習得を続けながら対応してきました。

また、社員一人一人が「仕事もプライベートも充実している人生」を実現してほしいと、職場環境の改善にも着手するなど、時代に合わせ、働き方も積極的に変化させています。

市内の
観光歴史めぐり



(所在地：いわき市内郷白水町広畑)

白水阿弥陀堂の大イチョウ
(しらみずあみだどうのおおいちょう)

いわき市には、多くの観光歴史名所があります。
「市内の観光歴史めぐり」として、白水阿弥陀堂の大イチョウを紹介します。

国宝白水阿弥陀堂の境内に、大きなイチョウがあります。

昭和47(1972)年以来、境域復元工事が進められ、建造物保護のために脇枝と梢(木の幹や枝の先)が切り落とされ、現在は樹高約29m、胸高幹周り5.9mの大木です。

以前は高さ10m付近に相生の桜とサカキがありました。桜は枯れてしまいました。

イチョウは生長が早く、土地を選ばないので、大木になることから、各地で天然記念物として指定されていることが多く、本樹も昭和43(1968)年12月27日にいわき市指定天然記念物に指定されました。

秋のイチョウの葉が一斉に黄色く染まる光景は、まるで絵画のようで、誰もが心を奪われる瞬間です。また、新緑、紅葉時の御堂を囲む浄土庭園と大イチョウのコントラストは格別であります。

特に、紅葉の見ごろにあわせての夜間のライトアップは、大イチョウや色づいたもみじが暗闇の中に美しく浮かび上がり、幻想的な雰囲気に包まれます。



▲浄土式庭園と大イチョウ



column
向日葵

日本銀行福島支店が10月に公表した2024年9月分の福島県金融経済概況は、県内景気は、緩やかな持ち直しを続けているものの、そのペースは鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、回復ペースが鈍化している。住宅投資は、基調としては弱めの動きとなっている。設備投資は、能力増強投資などがみられており、緩やかに持ち直している。公共投資は、減少していると公表されております。

一方、当金庫の景気動向調査では、いわき市全域では令和6年4月から6月期の前回調査と比較し、令和6年7月から9月期の今回調査では、業種全体ではほぼ横ばいで推移しております。先行きについてはわずかに改善する見通しとなっております。また、資金繰りについては、依然としてすべての業種で「苦しい」超となっており、先行きについてもすべての業種で「苦しい」超となっています。当金庫は、今後もお客様の様々な課題解決のお手伝いをさせていただくため、お客様に寄り添い、積極的にかつ迅速に取り組んで参ります。

発行／ひまわり信用金庫
〒970-8026 いわき市平字二町目10
編集／総務部 総務グループ TEL.0246-23-8500
☐ <http://www.shinkin.co.jp/himawari/>

▶『とっかけ』とは 「始める」「取りかかる」という意味のいわき地方の方言です。この情報を、何かを始めようとする時のきっかけ、取っかかりにして頂ければ幸いです。